



取締役

棚谷 泰之

有限会社 セイワ

【本社】茨城県高萩市秋山 879
【日立営業所】茨城県日立市東町 3-1
URL : <https://seiwa-uh.jp/>

レンタカーズ SEiWA

【本社工場】茨城県高萩市秋山 879
【中古車展示場】茨城県高萩市秋山 703-1 (秋山十字路)
URL : <https://seiwa-rc.jp/>

- A 【セイワ】のユニットハウスを使用した飲食販売店
- B 同社のユニットハウスを使用した会社事務所
- C・D 【レンタカーズ SEiWA】が所有する車両



土木建築業とレンタカー事業の両輪で 地域活性化を目指して前進を続ける

土木資材・建築資材・ユニットハウス販売、リフォーム・リノベーション工事を手掛ける『セイワ』。棚谷取締役は父親から引き継いだ同社を堅調に成長させてきた。この度、新たにレンタカー事業『レンタカーズ SEiWA』を立ち上げ、地域貢献を見据えながら事業に邁進する取締役のもとをタレントの野村将希氏が訪問。これまでの歩みや今後の展望などを伺った。

——早速ですが、まずは棚谷取締役の歩みから伺います。

子どものころから車やバイクが好きで、学業修了後はレストアの仕事をしていました。その時には父は『セイワ』を立ち上げていましたが、車関係の仕事がしたかったので建設業界に入ることは考えていなかったですね。

——どのようなきっかけがあって、『セイワ』さんに入られたのですか。

父から「車の仕事を辞めて、この会社に入ってくれ」と言われたのです。考えた末に21歳で入社したのですが、その2~3カ月後に父が交通事故で亡くなりまして。後継者として入ったのですが、まだ何も分からない状態だったので後を

継げるのかどうか不安でした。しかし、母や親戚のおじさんが「協力するからやってみればいいのでは」と背中を押してくれ、私も「やってみてダメだったら、その時に考えよう」と肩の力を抜いてイチから当社の仕事を始めました。

——お父様は何かを感じて、取締役に声を掛けられたのでしょうか。未経験のお仕事だったと思いますが、実際に始められてみていかがでしたか。

当社は土木資材・建築資材・ユニットハウス販売、外構・エクステリア工事、リフォーム・リノベーション工事などを手掛けていて、私は営業として資材販売をメインに行っていました。土木建築は業界用語が多く、分からないことはお客様に尋ねながら覚えていきましたね。

——実地で知識と経験を蓄積されていたのですか。ところで、取締役は新たにレンタカー事業を始められたとか。

はい。2024年11月に『レンタカーズ SEiWA』を始めました。実はかつて仕事にしていたレストアを趣味としても続けていまして、直した車は20~30台あるんです。自分のコレクションとして保管していた車を貸し出せば事業になるのではないかと思いついたんです。

——整備は独学で覚えたのですか。

いいえ。整備は私の知人をお願いしています。钣金塗装はレストアの仕事をし

ていた時に先輩に教えてもらいました。今は分からないことはインターネットで調べることもできますし、プロに教えてもらうこともありました。

——取締役がお若い時にやりたかったことが、今できているというのが良いですね。

当社にはスポーツカーをメインに普通車やトラック、10人乗りのバンもあります。一通りは網羅していますよ。しかし、スポーツカーに特化したレンタカーを思いついた時は本当にそれで運営できるか不安もありました。

——もともと趣味が高じて始められたのですよね。ということは、レンタカー事業で利益を求めているわけではないということですか。

いえ、やるからにはほとんことんやります。中途半端に趣味の延長線上でやって、本業である土木・建築のほうの利益を食い潰してはいけません。だったら逆に本業よりも利益を上げたいと考えています。もう30年以上今の土木建築業界にいますから、ノウハウを活かして私がいなくても回るような体制を築きました。期間を設けて本業を社員に任せ、レンタカー事業を軌道に乗せて黒字化したいと思っています。

——本業を疎かにしないという部分に、取締役の責任感の強さを感じますね。

事業を軌道に乗せるためにはスタート

ダッシュが肝心。色々なPRをして皆に知ってもらいたいと思っていて、新聞や専門誌にも取り上げていただきました。他にも YouTuberさんとコラボしてイベントも開催しようと考えています。

——これから楽しみですね。新しい事業をスタートされたばかりだとは思いますが、今後の夢や目標を教えてください。

夢はこのレンタカー事業を大きくして、拠点を増やしたいです。水戸やつくばなどに支店を展開してエリアを広げたいですね。

——そのためには人材の確保が課題となってくると思います。

そうですね。人材を増やし、併せて車の台数も100台、150台、200台と段階的に増やしていきたいです。つくばや水戸に比べると高萩は田舎ですから、何か

人が集まることをしないと発展できないと思います。イベントを開催したりレンタカーの拠点を増やしたりすることで高萩に来ていただき、魅力を知ってもらいたいです。周囲の人たちと話し合い、考えながら、地域の活性化に貢献していきたいですね。

(2025年1月取材)



入社当初の修業の日々

▼後継者として『セイワ』に入社した棚谷取締役だったが、不運にも先代である父親は交通事故で亡くなったという。右も左も分からない状態で会社を担うことになったが、おじの厳しい教えを受けて豊富なノウハウを蓄積していった。おじと2人で朝6時から深夜2~3時まで仕事に励む日々が3~4年は続いたという。「その下積みを通して精神的に強くなったと思います」と取締役は振り返った。現在、新たにレンタカー事業『レンタカーズ SEiWA』に注力している取締役。その挑戦も不屈の精神で同社のさらなる成長へ繋げていくことだろう。今後の展開が楽しみである。

野村 将希 (タレント)

小さいころから好きだったという自動車のレストアを趣味で続け、復活した自動車を活かすべくレンタカー事業を立ち上げた棚谷取締役。地域貢献も見据えながら、生き生きと自動車のことを話される姿はとても印象的でした。単なる趣味として終わらせないと覚悟と責任感を強く持つ取締役の今後のご活躍が楽しみです。

